

吹田市議会議員

いけぶち佐知子 通信

NEWS未来にまっすぐ

2014年 No.5

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 TEL&FAX 06-4861-7418

一年間の

監査委員が終わりました

昨年六月に役選(議会の役員選出)で監査委員の一人(議会選出の監査委員は二人)となつてから、はや一年が経ちました。

吹田市議会では申し合わせにより(というのは、決まりがあるわけではないですがということ)、役員任期は一年としています。ですから、明日から始まる役選代表者会や議会を経て、新しい監査委員が選出されることとなります。

今日は、監査委員として最後の監査でした。

水道事業会計と一般および特別会計、そして、四月からは独立行政法人になった市民病院の三月会計を監査しました。

水道は、公営企業法が改正になり退職金引当金などの引当金を、計上しなければならなくなったので、四月分に一気に引当金の計上があります。会計的にはマイナスになっています。一般および特別会計も、四月から新公会計になりましたので、今まで見慣れていたのでちょっと違いましたので、戸惑いました。

四月は一般会計で十二億円の財政調整基金からの取り崩し収入があり国民健康保険の特別会計では三五億円の赤字を解消するため、三五億円財政調整基金からの取り崩し収入がありました。

市税や国府の補助金等も同じですが、一年間トータルである程度の収入はありますが、四月初から収入がどんどん入るわけありませんので、最初は財政調整基金を取り崩すしかないのです。

でも、基金取り崩しから一年が始まると考えると、あまりいい気持ちにはなりません。

監査が終わり、水道部長や会計室会計管理者から、また、市民病院を担当する福祉保健部理事から監査委員に対するねぎらい、お礼の言葉をいただきました。

最後に、次の監査委員への引き継ぎ書にサイン、押印したのち、代表監査委員さんからもねぎらい、お礼の言葉をいただきました。

本日はここで終わりのようでしたが(わがままを言いました)、お礼の言葉をいただきましたが、私たちのほうからもお礼を言いたいです。と言って、代表監査委員さん、常勤監査委員さん、事務局職員さんたち

にお礼の言葉を述べさせてもらいました。一緒に監査をしていた野田監査委員もお礼の言葉を述べられました。

やっぱり、議員が一番偉いのではなくて、議会選出委員が交代するから、残られる委員さんからお礼を言われるのではなくて、私も監査をすることによってとても勉強になりましたので、心からお礼を言いたかったです。

さあ、監査委員で学んだ知識を議会でも生かしたいと思えます。



<今月の1枚の写真>

植込みの2段重ね

緑いっぱいです



行政の言葉は

市民に伝わっているか？

五月二十八日、夜7時から8時の予定で千里山会館で千里山の（仮）跨線橋線西側交差点の信号機設置に関する説明会がありました。

都市整備部から職員が六人（だっただと思います）が来られて、市側の説明をしたのち、参加者からの質疑応答でした。

両方合わせて一時間の予定でしたが、八時になっても終わらず、九時前までかかりました。

質疑を聞いていて思ったのは、「今、どこまで決まっています（変えることができます）」「どこまで決まっています（変えることができない）」「この（変える）ことができない」ということが市側は説明しているつもりでも、聞いている側に伝わっていないのではないかということでした。

- ① 交差点の形状は決まっている。だから、歩道を広げてほしいとか、歩道をつけてほしいと言われてもできない
- ② 交差点の信号機の設置位置は決まっていない。（案はあるけれど）

だから、意見は言える。

けれど、警察との協議なので市民意見がそのまま通るとは限らない。

③ 交差点の信号機の信号パターンは決まっていない。（案はあるけれど）

だから、意見は言える。けれど、決めるのは警察

①については、歩行者の安全確保のために歩道が必要ということはわかるけれど、地権者との交渉で、買い取れる部分と買い取れない部分があったわけで、市側の努力や市民の熱意だけでは無理なところがあります。また、法律上、道幅によって歩道をつけることができる、できないがあります。

②については、歩行者や自動車に邪魔にならない、見えやすい場所に決めないといけません。

③については、参加者からも意見がありました。交通量調査が必要でしょうということでした。

市側は平成一七年と二四年の二回、調査をしたことでしたが、今日は、そのデータを持ち合わせていない（説明会で示せない）から説得力がありません。今夜の説明会の反省をしっかりとしてほしいです。

事務所仕事をしていると

お昼過ぎに、ガラリとガラス戸が開き、もう十数年ぶりにお会いする方が立ち寄ってくれました。

私が女性センター（今は、男女共同参画センター）で講座の企画運営の仕事をする非常勤職員をしていたときに、講師として来ていただいた方でした。お名前をおっしゃってください、すぐに思い出しました。ご家族の介護などがあり、講師のお仕事は辞められたそうです。今は、次の活動をどうしようかなと充電中のようにでした。（彼女は、充電中というより放電中かも、って言ってましたが）

「たしか、いけぶちさんの事務所はこのあたりだったよね」と思ってプらプら歩いていたら、事務所見つけました」とのことでした。

こんなふうに、長年お会いしてなくても来てくださって、そしてお話たくさんできました。とっても嬉しいことです。

すいぶん、久しぶりなのに、介護の話から自己実現、自分育ての話から、たくさん話げできました。

また会いましょうね、と言って帰られる姿をお見送りしました。今日一日は彼女と会うためにあった一日だと思えます。

いけぶち佐知子のプロフィール

1957年 和歌山県生まれ。

1979年 大阪大学薬学部卒業。薬剤師。

1994年 吹田市立女性センター（現 男女共同参画センター）の非常勤職員として再就職。

自宅マンション裏の開発問題をきっかけに、市政に関心を持つ。

市民のための政治を求め、吹田市議会議員選挙に立候補。

1999年4月 初当選。現在、吹田市議会議員（4期目）。

環境、福祉、まちづくりの市民団体に所属し、市民活動にも励んでいる。

いけぶち佐知子事務所
吹田市千里山西5-2-5



平日 10時～15時 OPEN